

留学だより No. 5

留学だよりを出すのがかなり遅れてしまい申し訳ありません。年末年始は凄まじい忙しさだった上にそのせいで体調を若干崩してしまいました、という言い訳をさせてください。とは言うものの、ボリビアにおけるクリスマスとお正月、恐らく1年で一番と言っていいほど楽しいイベントでした。という訳で今回はクリスマスとお正月の2つについて語っていきましょう。

① クリスマス

大多数の人がカトリック信者であるボリビアでは、クリスマスは家族と一緒に過ごすのが一般的です。12月に入ってから、街は早くもクリスマスムードになり、クリスマス1週間前にはキリストや聖母マリアを祀った祭壇のようなものがあちこちに散見されるようになりました。もちろん、私の家でも飾り付けに勤しみました。なかなか重労働でした。クリスマス当日、ボリビア各地から親戚が集まってきて一緒に Picana と呼ばれる昼食をとりました。なかなか美味しかったです。いつも和食を恋しがっている私ですが、日本に帰った暁にはこの Picana と Salteña と呼ばれる料理を恋しがることでしょう。夜には、ホットチョコレートを飲み、クッキーや菓子パンなどを食べました。ボリビアでは基本的に夜ご飯はそんなにしっかり食べません。食べ終わった後は、全員にグラス1杯のシャンパンと12粒のマスカットが配られました。マスカットの一つひとつに願いをかけてから食べるのだそうです。1年が12か月あるのでひと月ごとに願いを込める、ということらしいです。

翌日は、留学生の友達と一緒に、Zudáñez というところに旅行に行きました。クリスマスに行われる Chuntunqui と呼ばれるダンスが有名なところですが、最初は、見学するだけだと思っていたのですが、いつの間にか私達も踊ることになっていました。ダンス音痴で知られる私が大勢の前で踊るのはかなり恥ずかしかったのですが、良い経験でした。

② お正月

クリスマスはたっぷり家族との時間を過ごしたので、年が明ける前後には友達と夜通しパーティーに繰り出すのが習いです。特に、31日から1日にかけての夜は、殆ど寝ないでパーティーで踊り狂います。終わってからも疲れがなかなか抜けず苦労しました。でも楽しかったです。友達と楽しむだけでなく、沢山のひとと知り合うことができ、人脈を増やすのにはなかなか良い機会だったと思います。すみません、お正月についてももっと書こうと思ったのですが、ただただパーティーに行っていたお正月だったのであまり書くことがありま

せん。

私の12月はこんな感じでした。毎回あとがきに何を書くか悩みますが、今回はボリビアで流行っている曲を皆さんにお伝えして終わろうと思います。KAROL G と Nicki Minaj の Tusa という曲です。ここで暮らしてこの曲を聴かない日はありません。特に Pero sile ponen la canción と Ahora soy una chica mala のパートはどんなに流行りに疎い人でも歌えます。私がボリビアに来たころは Con Altura という曲がこの立ち位置にいたのですが、流行の移り変わりはあっという間ですね。

祭壇



Picana



宮下